

質問 箱根ヶ崎駅周辺の整備は進んだが、活性化はなかなか進まない状況であり、特に西口は閑散とした状況である。多摩都市モノレールの乗り入れも期待され、また「みずほ



近藤 浩 議員 (改革みずほの会)

駅周辺の活性化を図れ

町長 第5次長期総合計画で方針を示したい

きらめき回廊」の出発点でもある駅周辺の活性化を図るべきと考え、所見を伺う。

問① 観光案内所や図書室などが入り、住民が集える施設を。

町長 駅西および駅東側の整備については、区画整理事業並びに多摩都市モノレール延伸の進捗を踏まえて、第5次瑞穂町長期総合計画で方針を示したい。

問② カフェやパン屋、コンビニや飲食店など店舗の誘致を。

町長 町は、これまで多額の経費と時間をかけ区画整理事業を進めてきた。投資効果に期待するものではあるが、

問③ 商店などの進出は、民間の経済活動に委ねるべきものと考えられる。

問③ 駅自由通路をもっと活用せよ。

町長 現在、指定管理者と連携し、マルシェ、期日前投票所など活用されている。今後も創意工夫を図り活用していきたい。



箱根ヶ崎駅西口の様子

こんな質問もありました
米軍横田基地問題について

町長 引き続き国および米軍に対し、安全確保の徹底、良好な生活環境の確保を申し入れる。



柚木 克也 議員 (新瑞会)

瑞穂町の活性化について

町長 バランスのとれたまちづくりをすすめる

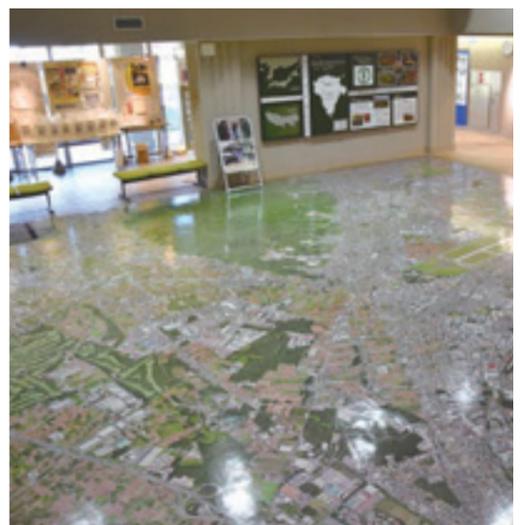


質問 少子高齢化による人口構造の変化など、町を取り巻く社会的、経済的な環境の変化が起こっている。町おこしという言葉があるとおり、各自自治体は、大なり小なり、自身の自治体の活性化に取り組んでいる。瑞穂町では、以下の活性化策が必要と考えるが、町長、教育長の所見を伺う。

問① 農業振興地域の解除。

町長 都市マスタープランや農業振興計画を示し、土地利用の促進を図るとともに、農地保全とのバランスのとれたまちづくりを進めるべきと考えている。

問② 道の駅の誘致。地元産品の確保、



瑞穂町郷土資料館「けやき館」のガイダンスホール床に配置されている町全域の航空写真

経営リスクへの対処など課題もあるため、慎重に考えるべき。

問③ 誰でも乗れるコミュニティバスの実現。今年度、今後の公共交通についてのあり方について検討に着手している。

町長 率先して町内業者から見積書を徴取するよう職員に指示している。

問④ 学力の向上。学力向上のため、学力向上策を進めていく。



香取幸子 議員 (自民新政会)

コミュニティセンターの改修改善を



町長 地域運営の核施設となるよう各種施策を連動してつなぐ

質問 現在、武蔵野地区、元狭山地区、長岡地区に開所しているコミュニティセンターは、広く町民の活動、交流の拠点として利用されているが、今後、一層顕著となる少子高齢化や国際化への対応を考慮すると高齢者や子供たちなどの居場所、交流拠点として更なる機能強化が求められる。そこで、現在及び将来の利用者ニーズに対応できるようにハード・ソフト両面において改修改善が必要と考えるが、町長の所見を伺う。

施設とすることが大切であると考えられる。今後、地域による自主運営を目標に、世代を超えて利用しやすく、地域運営の核施設となるよう各種施策を連動していく。

町長 3カ所のコミュニティセンターは町施設でも比較的新しことから、施設本体の改修



9月に行われた元狭山コメンまつりの様子

委員会活動報告

基地対策特別委員会

新たに発生したオスプレイの騒音・振動被害など 国に対策を要望

基地対策特別委員会は7月22日、町と一体となって防衛省・外務省・総務省・環境省へ要望活動を行いました。

主な内容は、騒音および安全確保に関する米軍への申し入れ（市街地上空における低空・旋回飛行などの中止、騒音・排気ガスを伴うエンジンテストの回避、夜間および早朝の飛行訓練の中止）など10項目にわたりました。特にCV-22オスプレイの騒音・振動被害については、口頭でも町の実情を訴え、対策を求めました。

北関東防衛局長に委員長が要望書を提出